

生命いのちの言葉

平成二十七年六月

ちはやぶる 神の御坂みさかに幣ぬさまつり
いはふ命いのちは父母のため

神人部子忍男

裏面もご覧ください。

生命いのちの言葉
六月

荒ぶる神のいらつしやる神坂峠に
お供えをして道中の安全と
無事帰還を祈るのは、
自分のためではない。
命を授けてくれた父母のためである。

神人部子忍男 (みわひとへのこおしお)

天平勝宝七(七五五)年、防人として厳しい任務を
帯びて九州に派遣される折、東国と西国をつなぐ
東山道の最大の難所である神坂峠で、故郷で自分
の帰りを待つ両親を思って歌ったと言われる。

紫陽花がひとときわ綺麗なこの季節、皆様の御多幸を心よりお祈り申し上げます

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



伊勢神宮に
参拝しましょう